

合併に向けた市町村の動向

【平成 19 年 7 月 20 日現在（人口は H17 国勢調査による）】

(下線：最近（H19.5以降）の動き)

< 1 首長及び議会で合併の方向で合意している市町村 >

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
波 田 町 (14,914)	<p>H16.6.27 条例による住民投票の結果（反対 53.7%、賛成 46.3%）を受け、松本西部任意合併協議会を脱退。</p> <p>H17.7.10 波田町長選で合併推進派の太田典男氏が 56:44 で初当選。</p> <p>H18.10.2 町長が合併の必要を訴える全戸訪問を始める。</p> <p>H18.12.18 住民意向調査（アンケート）を実施。合併「賛成」48.7%、「どちらかといえば賛成」14.5%、「反対」17.6%、「どちらかといえば反対」8.2%となり、賛成多数となった。</p> <p>H18.12.22 議会が全員協議会で松本市との合併に同意することを決める。議会の報告を受けて町長は、正式に松本市に合併協議の申し入れをすることを表明。</p> <p>H19.1.16 臨時議会あいさつで、町長が 25 日に松本市長に対し正式に合併協議を申し込む方針を明らかにした。また、議員提案による合併に関する特別委員会の設置議案を可決。</p> <p>H19.1.25 町長と議長らで松本市に正式に合併協議を申し入れる。松本市側は「これまでの経過からも慎重に慎重を期したい。」とした。</p> <p>H19.1.29 町長は町議会の合併特別委員会で、合併協議の申し入れを「断られたとは思っていない」と考えを示し、「正しく町を理解してもらうため」の情報発信を検討するとした。</p> <p>H19.3.2 太田町長は 3 月議会の開会あいさつで「松本市民に好ましい合併相手として迎えられよう、行財政運営の襟を正す」と述べた。また、19 年度予算案で町 HP に松本市民に波田町の PR する部分を加えるための更新費 50 万円を盛り込んだ。</p> <p>H19.5.7 町議会は松本市との合併に向けて体制を強化するため、合併特別委員会を改選前に引き続き、議会内に設置した。</p> <p>H19.6.29 「松本市との合併を目指すコーナー」を 29 日から町公式サイトに開設。松本市等に向けて情報を発信した。</p>	松本市
清内路村 (777)	<p>H18.2.16 臨時村議会で「合併問題特別委員会」の設置を議員提案し、可決。</p> <p>H18.9.26 村議会合併問題特別委員会が 9 月定例会に最終報告書を提出。周辺市町村との合併について「行政改革の一つの手段として選択を考えると」とし、その相手は「阿智村をおいて他にない。」と明記。</p> <p>H18.9.28 9 月議会で「阿智村との合併を求める道を選択することが、地域の自律性を高める」との決議を賛成 6:1 で可決。</p> <p>H18.10.6 阿智村教育委員会は清内路中学校と平谷中学校の阿智中学校への統合を前向きに検討していくことを確認。</p> <p>H18.10.24 合併問題研究に関する中間報告をまとめる。</p> <p>H18.10.30・31 合併問題に関する住民説明会を村内で開催。</p> <p>H18.12.21 阿智村教育委員会が清内路・平谷両中学校の阿智中学校への統合について、受け入れ項目の了承を前提に受け入れることを通知。</p> <p>H19.3.11 合併学習会を開催し、村内外から約 160 人が参加。</p> <p>H19.5.25 村内の住民グループが岡庭阿智村長らを招き「清内路の明日を語る会」を開催。阿智村長は、合併について「もう少し考えさせてほしい」とした。</p> <p>H19.6.5 村内の公募住民や村議らでつくる「村合併問題研究会」が、「阿智村との合併について話し合う場を設けるべき」とする報告書をまとめ、村長に提出。桜井村長は「報告を重く受け止め、より良い結論が出せるようにしたい」とした。</p> <p>H19.6.13 合併問題研究会は桜井村長に 5 日に提出した最終報告書の住民説明会を開</p>	阿智村

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
	<p>催 (13.14 日に3回)</p> <p>H19.6.18 桜井村長は「議員の意見を聞かせていただき阿智村との合併について話し合う場の創設を申し入れていきたい」と村議会6月定例会の冒頭あいさつで意向を示した。時期については「議会での意見を聞いてから判断したい」とした。</p> <p>H19.6.22 阿智村に対し合併の協議をする場の設置を25日に申し入れる意向を明らかにし、また村議会も議員提案で「阿智村との合併協議の場創設に関する決議」を全会一致で可決した。</p> <p>H19.6.25 阿智村に対し合併協議の場創設の申し入れをする。岡庭阿智村長は「話し合いには応じるが、合併の是非よりも、今後の山村のあり方や、住民の幸せを話し合う場にしたいと述べる。</p>	
信州新町 (5,535)	<p>H16.10.31 「住民投票」で小川村、中条村との合併「賛成」51.9%が出たが、小川村の「反対」多数、中条村の「長野市との合併」多数の結果により、3町村の合併は見送り。H17中に、行財政改革検討委員会で行政サービスの検証や今後の方向性を検討。</p> <p>H17.9.27 町議会で「町の合併を進める会」が提出した長野市への合併を進める陳情を12:2で採択し、また「町の自立をもとめる町民有志」が提出した町の自立を求める陳情は不採択。</p> <p>H18.4.23 信州新町長選で合併推進派の中村靖氏が62:38で4選を果たす。</p>	長野市 中条村
中条村 (2,525)	<p>H16.10.31 「住民投票」で「長野市との合併」が48.6%、「信州新町、小川村と合併」が47.6%、「自立」が3.2%、0.6%は無効の結果が出た。</p> <p>H16.11.1 村長は、住民投票結果を尊重し、長野市との合併に進むことを表明。議会全員協議会で投票結果を尊重することを全会一致で決める。これを受けて長野市との協議を模索しているが、現在のところ合併協議開始に至っていない。</p> <p>H17.3.10 村議会が長野市との合併を推進する決議案を全会一致で可決。</p> <p>H17.9.8 9月議会定例会一般質問で、議員全員が長野市との合併に向け、村が積極的に取り組むよう要請。</p> <p>H17.12.8 12月定例会の冒頭で「信州新町とともに長野市のご理解を頂き、できるだけ早く合併に向けての具体的な取組みができるように努力する」ことを表明。</p> <p>H19.5.7 初当選した久保田元夫村長は「長野市との合併を進めたい。」と臨時議会であいさつした。</p> <p>H19.6.13 6月定例会の合併に対する質問の答弁で、長野市との合併について「年度内に協議に入る体制を整えたい」と述べ、その前提の住民合意の形成を進める考えを示し、合併を視野に入れた「村づくり」を検討する委員会を設置するとした。</p>	長野市 信州新町

< 2 関係市町村の動き >

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
長野市 (378,512)	<p>H19.6.7 鷺沢長野市長は、議会6月定例会の提案説明の中で、信州新町と中条村が長野市との合併を模索していることに触れ「合併新法の期限内に結論を出すなら、本年度中にも協議を始める必要がある」と述べ、「合併推進に前向きな姿勢で臨むことが、長野広域圏の中核的都市である本市の責務」とし住民総意のもとでの申し入れがあれば協議を進める方針を示す。</p> <p>H19.6.21 6月定例会の総務委員長報告で「財政指数の悪い自治体との合併は市の財政負担が一層増す恐れがあり、市民の合意を得るのは容易ではない」として慎重な検討を求める意見が出た。これに対し鷺沢市長は「持続すら危ぶまれる自治体が存在することは事実。(地方分権という)将来の国と地方の形を見据えたとき、市町村合併の更なる推進が必要になるのではないかと述べた。</p>	信州新町 中条村

市町村名 (人口(人))	対 応 状 況	参 考
松本市 (227, 627)	<p>H19. 1. 25 波田町が正式に合併協議を申し入れる。松本市側は「協議の場を設けるには、議会への相談や市民意向の把握が必要であり、まずは、市民へ様々な情報を提供しながら、慎重に、かつ、時間を十分にかけ取り組む」とし、平成19年度中に合併協議の場を設けることは困難とした。</p> <p>H19. 3. 5 2月一般質問の答弁で「市民意向の確認が重要であり、まずは、松本市民に正確で分かりやすい情報を提供するため、波田町に関するさまざまな情報を収集、整理するよう担当部署に指示してある」と答えた。</p>	波田町
阿智村 (6, 771)	<p>H19. 6. 18 <u>桜井清内路村長の「議員の意見を聞かせていただき阿智村との合併について話し合う場の創設を申し入れていきたい」との意向を受けて岡庭阿智村長は「申し入れがあったところで議会と相談して対応を決める」と述べた。</u></p> <p>H19. 6. 20 <u>岡庭阿智村長は20日の村議会で「隣村として共存していくために、話し合っていくことはやぶさかでない」「どの選択肢が住民にとって良いのか、慎重に判断していく必要がある」と述べた。</u></p> <p>H19. 6. 25 <u>清内路村より合併協議の申し入れに対し「話し合いには応じるが、合併の是非よりも、今後の山村のあり方や、住民の幸せを話し合う場にしたい」と述べた。</u></p>	清内路村